

様式第1号（第2条関係）

市川市市民活動団体支援金交付申請書

平成27年2月4日

市川市長

団体名 Re-いちかわ  
代表者名 庄司 博志  
所在地 市川市国分5-6-21  
電話 047(372)1961

市川市市民活動団体支援金の交付を受けたいので、市川市納税者等が選択する市民活動団体への支援に関する条例第5条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

1. 事業の名称 **家庭生ゴミの堆肥化利用方法の普及**
2. 事業の概要 家庭から出る燃やすゴミの中で多くの割合を占めている生ゴミを堆肥化利用することによって健康な野菜や花を家庭菜園やプランターで育てる方法を市民に普及することにより、市の燃やすゴミの処理にかかる費用を削減すると同時に、市民の健康増進を図る。
3. 事業費総額 120,000 円
4. 交付申請額 60,000 円
5. 添付書類
  - (1) 団体概要調書（様式第2号）
  - (2) 規約、会則、定款等の写し
  - (3) 市川市市民活動団体支援金申請事業計画書（様式第3号）
  - (4) 市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書（様式第4号）
  - (5) 団体の事業報告書、収支決算書の写し（直近のもの）等の市長が必要と認める書類



団体概要調書

1 団体の概要

団体名	Reーいちかわ			
市内事務所の所在地	〒272-0834 市川市国分5丁目6番21号			
	【 専用事務所 ・ <u>住居と兼用</u> ・ その他 ( ) 】			
	電話	047 (372) 1961	FAX	047 (372) 1961
主たる事務所の所在地	同上			
代表者氏名及び役員氏名	【代表者氏名】 庄司 博志			
	【役員氏名】書ききれない場合は、別紙に記入の上添付してください。			
	役職	氏名	[Redacted]	
連絡責任者 ※ この申請について問い合わせをしたときに対応できる方	[Redacted]			
主な活動地域	※ 該当する□にチェックしてください。  <input type="checkbox"/> 国府台 [国府台] <input type="checkbox"/> 国分 [北国分、中国分、堀之内、稲越町、東国分、国分] <input type="checkbox"/> 曾谷 [曾谷] <input type="checkbox"/> 大柏 [大町、大野町、南大野、柏井町、奉面町] <input type="checkbox"/> 宮久保・下貝塚 [宮久保、下貝塚] <input type="checkbox"/> 市川第一 [市川、市川南3、4丁目、真間1丁目] <input type="checkbox"/> 市川第二 [市川南1、2、5丁目、新田、平田、大洲、大和田、稲荷木、東大和田] <input type="checkbox"/> 真間 [真間2～5丁目] <input type="checkbox"/> 菅野・須和田 [菅野、須和田、東菅野] <input type="checkbox"/> 八幡 [八幡、南八幡] <input type="checkbox"/> 市川東部 [北方町、本北方、若宮、北方、中山、鬼越、高石神、鬼高] <input type="checkbox"/> 信篤・二俣 [田尻、高谷、原木、二俣、二俣新町、高谷新町] <input type="checkbox"/> 行徳 [河原、妙典、下妙典、下新宿、本行徳、本塩、関ヶ島、伊勢宿、富浜、末広、塩焼、宝、幸] <input type="checkbox"/> 南行徳 [押切、湊、行徳駅前、入船、日之出、湊新田、香取、欠真間、福栄、南行徳、相之川、新浜、塩浜、広尾、島尻、新井] <input checked="" type="checkbox"/> 市内全域			

活動の分野	主分野 (1つ)	7	その他 分野	1
設立年月日	2003年 4月		会員数	23名 (2015年1月現在)
ホームページ			E-mail	sh-shoji2012@s8.dion.ne.jp
会報等の発行	有 ( 回 発行) ・			<input type="checkbox"/> 無
団体の活動目的  ※ 団体の活動目的を簡潔明瞭に記入してください。	<p>市川市の環境問題について考え、環境と健康を改善する活動を実践し、その結果を市民に普及することを目的とする。</p> <p>(注) 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動（不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。）」のことが定められていますか。( <input type="checkbox"/> はい ・ <input type="checkbox"/> いいえ )</p>			
主な事業内容	<p>簡単にできる生ゴミの堆肥化の実践と講演会や学習会の主催による普及活動。学校や幼稚園などでの食育活動。生ゴミ堆肥化用EMボカシ作成の実習会開催。先進事例の見学や学習。環境フェアなどでの発表。</p>			
これまでの主な活動実績  ※ 団体の主たる取組を簡潔明瞭に記入してください。	<p>① EMによる家庭から出る生ゴミの堆肥化利用効果の畑での確認 ② 取手市、戸田市などの近隣の先進事例の見学 ③ 市川市主催の環境フェアやエコギャラリーでの活動発表展示 ④ 八幡回遊展での活動発表展示 ⑤ 市主催の「環境活動リーダー養成講座」にて市民団体の活動例として紹介 ⑥ 市民を対象に「家庭生ゴミの堆肥化利用」関連講演会の開催 (過去9回) ⑦ 市民を対象に「生ごみ堆肥化用EMボカシの作成」実習会の開催 (過去2回) ⑧ 市民を対象に「生ゴミ堆肥化利用と調理実習」講座を開催 (過去4回) ⑨ 市内富貴島幼稚園の「生ゴミ堆肥化利用による菜園」をサポート</p>			
団体の特徴、アピールをしたいこと等	<p>(目的) 可燃ゴミの多くの比率を占める生ゴミを減らして市のゴミ処理費用を減らすと同時に市民の健康増進を図ることを目的とする。 (効果) 平成22年の生ゴミ処理費用は約14億円。生ゴミを1割減らすだけでも1.4億円節約できる。生ゴミの大半は水分であるので、燃料代に換算すればさらに減る。 また、生ごみを堆肥化して利用することで野菜の免疫力が上がり、農薬を使わずに済むため、この野菜を食べることで市民の健康向上が計れる。さらに、食べ物を大切にする心も育てられ、食育にもつながる。</p>			
市からの他の補助金等	<input type="checkbox"/> 有 (名称: ) ・			<input checked="" type="checkbox"/> 無

2 活動計画書（平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで）

事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日時	実施予定 場所	従事者の 予定人数 (延べ)	受益対象者の範 囲及び予定人数 (延べ)	事業費の予 算額(千円)
1%支援事業を記載 ①生ゴミ堆肥化 学習会(2回/ 年)	生ゴミリサイクル の各種の方法につ いて実演を含む学 習会	平成 27 年6月頃 及び9月 頃	公民館 などの 公共施 設	10人	一般市民 60人	50
②調理実習講座	生ゴミ堆肥化の学 習と堆肥化利用の 野菜を利用した調 理実習	平成 27 年 11 月 頃	公民館 などの 公共施 設	5人	一般市民 20人	30
③環境フェアな どでのPR	市主催の環境フェア などでのパネル 展示による生ゴミ 堆肥化効果のPR	平成 27 年6月頃	千葉県 立現代 産業科 学館	10人	一般市民 100人	10
④幼稚園での生 ゴミ堆肥化利用 支援	富貴島幼稚園での 生ゴミ堆肥化利用 野菜作りの支援	平成 27 年4月～ 翌年3月 頃	富貴島 幼稚園	10人	幼稚園の園児 及び保護者 50人	30
小計				35(a)	230(b)	120(c)

(2) その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日時	実施予定 場所	従事者の 予定人数 (延べ)	受益対象者の範 囲及び予定人数 (延べ)	事業費の予 算額(千円)
実験菜園での畑 作業	生ゴミ堆肥利用 の効果確認のため の野菜作り	毎月	須和田 菜園他	20人	会員40人	80
小計				20(d)	40(e)	80(f)

合計	(a)+(d)=(g) 55	(b)+(e)=(h) 270	(c)+(f)=(i) 200
----	-------------------	--------------------	--------------------

全活動に占める社会貢献活動の割合 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	(a)/(g)	(b)/(h)	(c)/(i)
	64%	85%	60%

3 収支予算書（平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで）

(1) 収入の部

単位：円

科目	金額	説明（積算等）
1 会費収入	15,000	1,000円×15人
2 事業収入	40,000	
生ゴミ堆肥化学習会	30,000	参加費500円×60人
調理実習講座	10,000	参加費500円×20人
3 補助金収入	60,000	
市補助金	60,000	市民活動団体支援金
4 寄附金収入	15,000	5,000円×3人
5 その他収入		
6 前年度繰越金	70,000	
収入合計	200,000	

(2) 支出の部

単位：円

科目	金額	説明（積算等）
1 支援対象事業	120,000	様式第4号の支出合計と同額を記載します。
2 事業費		
実験菜園での畑作業		
原材料費	60,000	種、苗、堆肥、EMボカシ
消耗品費	10,000	ビニールマルチ、不織布、支柱など
光熱費	10,000	畑の水道代
小計	80,000	
小計		
小計		
支出合計	200,000	

市川市市民活動団体支援金申請事業計画書

事業の名称	家庭生ゴミの堆肥化利用方法の普及	
目的及び効果	<p>(目的) 可燃ゴミの多くの比率を占める生ゴミを減らして市のゴミ処理費用を減らすと同時に市民の健康増進を図ることを目的とする。</p> <p>(効果) 平成22年の生ゴミ処理費用は約14億円。生ゴミを1割減らすだけでも1.4億円節約できる。生ゴミの大半は水分であるので、燃料代に換算すればさらに減る。また、生ごみを堆肥として利用することで生命力の強い野菜ができることがわかっており、この野菜を食べることで市民の健康向上が計れる。さらに、食べ物を大切に作る心も育てられ、食育にもつながる。</p>	
事業内容	主な対象者	市内の子供から高齢者まで
	実施期間	1年中
	実施場所	公民館などの公共施設
	内容	<p>家庭の生ゴミは現在ほとんどが燃やすゴミとして処理されているが、非常にもったいない。これを市民に資源として積極的に利用してもらうため、各種の生ゴミ堆肥化方法やその効果などについての説明と実習を含む学習会を開催する。</p> <p>また、生ゴミ堆肥化のための資材であるEMボカシの作り方の実演や生ゴミ堆肥で育てた野菜を使つての調理実習を行う主催講座を開催する。</p> <p>さらに、市内幼稚園での生ゴミ堆肥化利用の野菜作りの支援を行う。これらの活動を市民に知ってもらい、堆肥化利用を実践してもらうため、市の主催する環境フェアなどで生ゴミ堆肥化の効果を市民に展示する。</p>
事業スケジュール 別紙添付可	時期(月)	内容
	4月～翌年3月	市内幼稚園(富貴島幼稚園)での生ゴミ堆肥化利用野菜作りの支援
	4月	第一回生ゴミ堆肥化利用学習会の会場確保と市民へのPR
	6月	第一回生ゴミ堆肥化学習会実施 環境フェアに展示参加(活動の説明と市民の参加呼びかけ)
	6月～7月	1%支援PR
	7月	第一回生ゴミ堆肥化利用学習会の会場確保と市民へのPR
	9月	第二回生ゴミ堆肥化学習会実施 調理実習講座の会場確保と市民へのPR
	11月	野菜収穫、調理実習講座の実施

<p>広報計画・方法</p>	<p>※ 広く市民の参加を呼びかけるための具体的な広報計画等を記載してください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> インターネットを活用し情報発信を行う。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> フリーペーパーへの掲載を行う。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 広報いちかわ（市民の広場）に掲載する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他 （過去の講演会参加者へのチラシ郵送）</p>						
<p>新規事業、継続事業の別</p>	<p>※ 申請事業について、該当する口をチェックしてください。</p> <p><input type="checkbox"/> ① 市民活動団体支援金の交付申請をするのは初めてである。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ② 以前に市民活動団体支援金の交付申請をしたことがある。</p> <p>②に該当した場合、記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="496 994 1382 1115"> <thead> <tr> <th>今回の交付申請額 (a)</th> <th>前回の届出総額 (b)</th> <th>差額 (a)-(b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60,000円</td> <td>91,531円</td> <td>-31,531円</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;改善点・変更点&gt;</p> <p>前回の申請事業からの改善点、変更点等を記載してください。</p> <p>・最近高齢化や仕事、子育てなどで活動に参加できる会員が少なくなってきたため、講演会、講座、展示などのイベントの準備や当日のスタッフなど一部の会員に負荷が集中しており事業継続が難しくなってきた。</p> <p>会員の増強にも努めているが、すぐに効果は出ないため、今回は事業継続を優先してイベントの回数を減らすこととした。また、スケジュール調整の負担を減らすために講師は外部講師でなく会員が務めることにし、講座の内容もそれに合ったものにする事とした。その結果講師料などの支出も減ることになり、事業費全体が前回の1/2となったため交付申請額も減額となった。</p>	今回の交付申請額 (a)	前回の届出総額 (b)	差額 (a)-(b)	60,000円	91,531円	-31,531円
今回の交付申請額 (a)	前回の届出総額 (b)	差額 (a)-(b)					
60,000円	91,531円	-31,531円					

市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書

事業の名称: 家庭生ゴミの堆肥化利用方法の普及

1 【収入】 (単位:円)

項目	金額	説明 (積算等)
会費収入	15,000	団体の本会計より充当
事業収入	40,000	学習会・調理実習講座参加費 (500円×80名)
補助金収入	60,000	市川市市民活動団体支援金
寄附金収入	5,000	団体の本会計より充当
合計	120,000	

2 【支出】 (単位:円)

項目	金額	説明 (積算等)
報償費		
交通費		
消耗品費	5,000	紙、封筒、袋、文具、その他
印刷製本費	5,000	チラシ印刷代、資料コピー代
通信運搬費	30,000	郵送料 (100名×3回×82円) 他
原材料費	50,000	EM菌、糖蜜、竹粉、調理材料・調味料等
食糧費	10,000	スタッフの弁当代、飲み物代
備品購入費		
保険料		
その他	20,000	会場使用料、EMネット会費など 5,000
合計	120,000	

3 その他

交付決定額が交付申請額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

( はい ・ いいえ )

備考 支援金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に支援決定事業収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。



# Re—いちかわ 規約

## 第1章 総則

(名称)

第一条 この会は、Re—いちかわ（以下、「本会」という）と称する。

(事務所)

第二条 本会の事務所は代表宅に置く。

## 第2章 目的及び事業

(目的)

第三条 本会は、名称の頭文字に廃棄物減量のキーワードである、リサイクル（再生 Recycle）、リユース（再利用 Reuse）、リデュース（減量 Reduce）に共通する「Re」をつけているように、市川市の環境問題について考え、環境と健康を改善する活動を実践し、併せて、市民に普及することを目的とする。

(事業)

第四条 本会は、第三条の目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 家庭から出る生ゴミ堆肥化の実践とその利用効果の耕作地等での確認。
2. 生ゴミ堆肥化利用や健康改善、食育などに関して市民への普及活動。
  - (1) 外部講師による講演会の開催
  - (2) 生ゴミ堆肥化用資材（EM ボカシ）作成の実習会の開催。
  - (3) 幼稚園、保育園、小学校などへの普及の支援
3. 環境や健康の改善に有効な資材（EM：有用微生物群など）の普及。
4. 本会の目的に適うイベント（環境フェア等）での活動発表・展示等による広報宣伝・普及活動。
5. 先進事例の視察・見学会等による学習。
6. その他、本会の目的に適う事業・活動。

## 第3章 会員

(会員)

第五条 本会の会員は、本会の目的に賛同する者をもって構成する。

(入会手続)

第六条

1. 本会に入会する者は、本会所定の入会申込書に会費規定に定めるところに従い会費その他の費用を添えて、本会の事務所に提出するものとする。
2. 入会申込書を提出した者は、代表の承認を経て本会の会員となり、本会の会員名簿に住所氏名等を記載する。会員が退会したときは会員名簿から削除し、会員名簿の記載に変更が生じたときは、会員の届出により、訂正する。会員名簿に関する事務は、事務局が担当する。

(会員の特典)

第七条 本会の会員は、次の特典を受けることができる。

1. 本会の主催する各種行事に参加する事ができる。
2. 本会の借用した耕地でできた作物等の分配を受けることができる。
3. 本会の借用した耕地の共用部分以外に個別使用地の確保ができる場合は、抽選等により無償で使用することができる。

(役員)

## 「Re-いちかわ」 主な活動記録(事業報告書)

2003年4月 「Re-いちかわ」発足、～ 2013年2月までの活動については以前の1%支援申請書に添付の資料にあり、データが多くなるので省略、2013年以降について記載する。

2013年 2月 2013年度の1%支援制度に応募申請。

3月 2013年度1%支援制度対象団体に選考される

3月 富貴島幼稚園生ゴミ堆肥化実験支援開始

6月 市民への1%支援制度PR活動

6月 いちかわ環境フェアにパネル展示などで出展

6月 埼玉県戸田市の職員・吉田義枝さんを講師に迎え、第十回生ごみリサイクル講演会「生ごみと花苗が市民をつなぐ、戸田市の環境対策に学ぼう！」をアイリンクルームにて開催。

参加者80名。

8月 選出届出結果公表、支援金決定、今年度の事業決定

8月 主催講座「生ごみ堆肥化と有機夏野菜調理実習」を市川市男女共同参画センターにて開催。参加者20名。

8月 循環型社会推進課主催のじゅんかんパートナー・リーダー会議にて「生ゴミ堆肥化利用」の基調講演を行う

10月 関東EM普及協会事務局長の大沢加寿美氏を講師に迎え、第十一回生ごみリサイクル講演会「無農薬で育てる家庭菜園」を市川市男女共同参画センターにて開催。参加者60名。

10月 アイリンクタウンにて開催の「エコギャラリー」にパネル出展。

11月 主催講座「生ごみ堆肥化と有機秋野菜調理実習」を市川市男女共同参画センターにて開催。参加者20名。

11月 勤労福祉センターにて開催の循環型社会推進課主催「コンポストと生ごみ堆肥について」の講演会において講師を務める

2014年 2月 2014年度の1%支援制度に応募申請。

3月 2014年度1%支援制度対象団体に選考される

3月 今年度の富貴島幼稚園生ゴミ堆肥化利用菜園支援開始

5月 信篤公民館での公民館講座にて「生ゴミ堆肥化利用の説明」と調理用の野菜の提供

6月 市民への1%支援制度PR活動

6月 いちかわ環境フェアにパネル展示などで出展

6月 関東EM普及協会・EM ネット千葉の講師3名による、「EM 基礎講座」を市川市男女共同参画センターにて開催。参加者20名。

8月 選出届出結果公表、支援金決定、今年度の事業決定

8月 主催講座「生ごみ堆肥化と有機夏野菜調理実習」を市川市男女共同参画センターにて開催。参加者16名。

10月 関東EM普及協会事務局長の大沢加寿美氏を講師に迎え、第十二回生ごみリサイクル講演会「失敗しない無農薬野菜作り」を市川市男女共同参画センターにて開催。参加者40名。

11月 主催講座「生ごみ堆肥化と有機秋野菜調理実習」を市川市男女共同参画センターにて開催。参加者13名。

平成 26 年 5 月 26 日

Re-いちかわ平成 25 年度収支決算報告

	項 目	金 額	備 考
前期繰越	預 金	136,536	
	現 金	101,353	
	合 計	237,889	
収入の部	1. 会費	11,000	
	2. 市川市市民活動団体 支援金	83,175	
	3. 事業収入	89,400	講演会 2 回、講座 2 回
	4. 販売収入 (A)	41,710	EM ボカシ販売
	5. 販売収入 (B)	5,190	EM 原液、糖蜜
	6. 寄付金	23,000	
	7. 雑収入	20,677	エコバック、EMII
	収入計	274,152	
支出の部	1. 報償費	60,000	講師謝礼 2 名
	2. 交通費	18,300	講師への交通費、他
	3 消耗品費	10,839	用紙、封筒、事務用品等
	4. 原材料費	90,483	EM (ボカシ、原液、) 肥料苗、種
	5. 食糧費	31,190	弁当代、講師との懇親会、打合せ
	6. 印刷製本費	25,350	資料、ポスター、チラシ等
	7. 通信運搬費	38,630	案内状輸送料他
	8. 使用料	7,130	会場使用料
	9. 備品購入費	9,268	農機具、他
	10. 研修費		
	11. 各種会費	9,500	関東 EM 農場共益費
	12. 雑費	16,180	エコバック、EM ネット資料
	支出計	316,870	
平成 25 年度収支差		▲42,718	
次期繰越	預 金	102,222	
	現 金	92,949	
	合 計	195,171	

平成 25 年度 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日) の決算報告を致します。

会計担当: 衣川龍太郎

会計監査の結果、帳簿及び現金等について適正に処理されたことを報告します。

監事: 粕谷雅純

## 団体要件・事業要件確認シート

### ◆確認事項

団体要件	<p>以下の項目について、該当する口にチェックをしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 市内に事務所を有し、主として市内において活動をしている</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 規約、会則、定款等を有している</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 申請の提出時において、1事業年度以上継続的な活動の実績がある法令、条例等に違反する活動をしていない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 公序良俗に反する活動をしていない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 福祉、環境、文化、スポーツ、青少年育成その他の社会貢献に係る分野の活動（不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするもの）を行うことを主たる目的とし、営利を目的としていない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的としていない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的としていない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 団体又は構成員が暴力団等に該当していない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない</li> </ul>
事業要件	<p>以下の項目について、該当する口にチェックをしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 原則として市内において実施するもの</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 福祉、環境、文化、スポーツ、青少年育成その他の社会貢献に係る分野のもの</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 市民を主たる対象としている</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 当該市民活動団体の構成員のみを対象とする事業ではない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的とする事業ではない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的とする事業ではない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とする事業ではない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 支援金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない</li> </ul>

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が市川警察署に照会することに同意します。

団体名 Re-いちかわ

代表者 (職・氏名) 代表 庄司 博志

